

令和8年度 私費外国人留学生選抜試験問題

言語文化学科 [小論文] (RG)

令和8年2月7日(土)
10時00分～11時20分

注意事項

1. 解答始めの合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 解答始めの合図の後、下段に記載の枚数のとおり問題用紙・解答用紙・下書用紙があるか確認してください。
3. 解答を始める前に、解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。解答用紙に氏名を記入してはいけません。
4. 試験終了後も監督者が許可するまで退室しないでください。
5. 問題用紙及び下書用紙は持ち帰ってください。解答用紙は持ち帰ってはいけません。

問題用紙（この表紙を除く）	2	枚
解答用紙	2	枚
下書用紙	2	枚

『答案作成の注意事項』

1. 書き出しは、一マスあけない。
2. 改行したら、一マスあける。
3. 読点には「、」を使用し、句点には「。」を使用し、それぞれ一マスとする。ただし、行の末尾については文字と同じ一マスに含める。
4. 小さな「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」は一マスで使う。
5. 数字と英字の書き方は、下の例に従い、二文字で一マスを使う。
数字例：123であれば、「12」と「3」で二マス使用。
英字例：abcであれば、「ab」と「c」で二マス使用。

(言語文化学科は、小論文は英文読解を含みません)

- 以下の文章を読んで、設問に日本語で答えなさい。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

ケイレブ・エヴェレット著（大久保彩訳）『無数の言語、無数の世界』（2025年）

【設問1】本文の内容を200字以内で説明しなさい。

【設問2】下線部で著者は「英語話者にとつてごく「自然」に感じられる時間の性質が、他の多くの言語の話者には不自然に感じられる場合もある」と述べています。英語とそれ以外の言語の対比に限らず、ある言語では自然ではあるが、他の言語の話者には不自然に感じられる言語現象について、あなたが思いつく具体例を挙げて、400字程度で論じなさい。

採点・評価基準（具体的基準）

教科・科目名	小論文
実施学部・学科等	人文社会科学部言語文化学科
出題のねらい	<p>【問題 1】 受験者の日本語読解力、要約力、及び作文力を確認する。【設問 1】においては、受験者が学業を進める上で必要とされる日本語の読解力を備えているかを確認する。</p> <p>【問題 2】では、言語学習における時間のカテゴリーにおける、現在、未来、過去の時間の進行の核をなすこの三つの要素について、英語の事例を参照しつつ、自分の考えを具体的かつ論理的に述べることを確認する。</p> <p>またそれぞれの文章を日本語で書かせることによって、文章内容の正確な理解、自己の意見の表明、それらにおける日本語活用能力を総合的に評価する。</p>
採点基準	<p>【問題 1】 100点 設問を正しく理解し、時制という根本的な事柄やその概念について、問題文に基づき正確にまとめられているかどうかを評価する。</p> <p>【問題 2】 200点 設問で要求される特定の話題についての特別な専門知識は要求していないが、設問を手がかりに、自分の考えをまとめるための、言語文化に関する最低限の知識をもっているかどうかは評価の対象とする。下線部の概念を正しく理解し、設問の要求を満たす適切な例が挙げられているかどうか、また客観的かつ論理的にしっかりと論じられているかどうかを評価する。</p> <p>設問 1，設問 2 ともに、日本語表現が適切であり、文法的な誤りが少なく、読みやすい文章になっているかどうかを評価する。</p>